

第3回「生物の多様性を育む農業国際会議 2014」 開催要項 (みやぎ環境交付金事業)

1. 開催趣旨

農業の近代化が進む一方で、水田が生物の多様性を育んでいる役割が世界的にも注目されています。このような中、水田稲作農業を営む日本、中国、韓国などアジアの国々の間で、水田が生物多様性の維持・向上に果たす機能やそれを高める農法、生きもの調査の実施方法等に関する情報交換や議論を行う国際会議の枠組みについて、農業分野における生物多様性の向上の取り組みを実践する農業者・農業者団体や自治体、NGO等により検討され、「生物の多様性を育む農業国際会議」として2010年に兵庫県豊岡市で、2012年には新潟県佐渡市において開催されました。

生物多様性条約第12回締約国会議（以下「CBD-COP12」という。）が韓国で開催される本年、CBD-COP12における農業分野の生物多様性に関する議論やこれまで本国際会議において議論・検討されてきた技術や手法、施策等を踏まえ

- 生物の多様性を育む農業技術
- 生きもの調査と生物の多様性を育む農業技術の評価
- 生物の多様性を育み農業・農村を支える地域づくり

をテーマに私たちの暮らしと身近な生きものとの共生に向けた発展的かつ、実践的な議論・検討を行うため、宮城県大崎市において第3回「生物の多様性を育む農業国際会議 2014」を開催するものです。

2. 主 催

大崎市

3. 共 催

国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）

4. 後 援

農林水産省、環境省、宮城県、涌谷町、美里町、色麻町、加美町

5. 主 管

第3回「生物の多様性を育む農業国際会議 2014」実行委員会

6. 概 要

(1) 開催期間

平成26年12月5日（金）～7日（日）

(2) 開催会場

会 議：大崎市民会館（宮城県大崎市北町五丁目5-1）

交流会：芙蓉閣（宮城県大崎市古川駅前大通6-2-8）

(3) 会議等スケジュール :

時間	プログラム
5日 (金)	エクスカージョン (集合 : 大崎市民会館)
12:00 13:00	<p>■受付開始</p> <p>■出発</p> <p>【内容】 大崎地域の生物多様性や環境に配慮した農業及び環境負荷低減の取り組み関するに施設を視察します。</p> <p>【行程】 大崎市民会館→各コースへ Aコース : 古川農業試験場→(有)氏家農場→ふゆみずたんぼ →蕪栗沼のマガンの罨入り観察 Bコース : (株)ノ蔵→古川農業試験場→化女沼のマガンの罨入り観察 Cコース : エネカフェ・メタン→(有)千田清掃 (BDF 製造施設) →化女沼のマガンの罨入り観察</p>
17:00	各コースから大崎市民会館へ 【1日目終了】
6日 (土)	会議 (会場 : 大崎市民会館)
9:00-9:30 9:30-10:10	<p>■開場 : 受付 (9:00~9:30)</p> <p>■開会セレモニー (9:30~10:10)</p> <p>○司会 : アナウンサー 渡辺祥子さん</p> <p>○主催者あいさつ : 大崎市長 伊藤康志</p> <p>○共催団体あいさつ : 環境省東北地方環境事務所長</p> <p>○来賓ご祝辞 : 農林水産省, 宮城県</p> <p>○事例紹介 : 国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J) 委員 尾崎 清明さん (山階鳥類研究所 副所長)</p> <p>○生物多様性キャラクター応援団共同宣言式</p>
10:20~11:00	<p>■基調講演Ⅰ (10:20~11:00)</p> <p>『(仮題)いのちを育てる生物多様性』 講師 : 大桃 美代子さん (タレント・UNDB-J 地球いきもの応援団)</p>
11:00~11:30	<p>■基調講演Ⅱ (11:00~11:30)</p> <p>『(仮題)いのちにぎわう農業が持続可能な社会をつくる』 講師 : 夏原 由博さん (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)</p>
11:30~12:00	<p>■基調講演Ⅲ (11:30~12:00)</p> <p>『(仮題)日本の田んぼの生物多様性 その指標づくり』 講師 : 田中 幸一さん (独立行政法人農業環境技術研究所 上席研究員)</p>
12:00~13:00	休憩
13:00~14:20	<p>■パネル討論</p> <p>セッション1 : 『生物の多様性を育む農業技術の実践』</p> <p>座 長 : 稲葉 光國さん (NPO 法人民間稲作研究所理事長)</p> <p>副 座 長 : 佐々木陽悦さん (全国エコファーマーネットワーク代表)</p> <p>パネラー : 小松 庸一さん (JAいわでやま環境保全米栽培推進委員会副委員長)</p> <p>高橋 剛さん (JA古川稲作振興会 会長)</p> <p>矢澤喜久雄さん (千葉県いすみ市峰谷宮農組合代表)</p> <p>佐藤 繁雄さん (有機米栽培グループあふあふ倶楽部)</p> <p>趙 亜夫さん (江蘇省鎮江農業科学研究所研究員)</p> <p>チュ・ジョンソクさん (洪城プルム主穀環境宮農組合代表)</p> <p>【討論内容】・技術の変化・変更をもたらす生物多様性への影響 ・病害虫管理の現状と普及への課題 ・良質米づくりと生物の多様性を育む農業技術の現状と課題 ほか</p>

14:30～15:50	<p>セッション2：『生きもの調査と生物の多様性を育む農業技術の評価をめぐって』</p> <p>座長：城所 隆さん（元宮城県古川農業試験場長 農学博士） 副座長：斉藤 光明さん（NPO 法人オリエント） パネラー：安部 光枝さん（KANESA 代表 安部陽一 生産行程管理担当者） 神宮宇 寛さん（宮城大学食産業学部 准教授） 向井 康夫さん（東北大学 生命科学研究科 研究員） 王 磊さん（中国環境保護省南京環境科学研究所 有機食品発展センター） キム・ヒョンスクさん（iCoop 生協連合会 農業と環境チーム 団長）</p> <p>【討論内容】・生きものに配慮した農業技術に取り組みの評価手法としての生きもの調査の連動と普及。 ・生きもの調査からモニタリングへ（営農に活かせる生きもの調査の実践手法）</p>
16:00～17:30	<p>セッション3：『生物の多様性を育む農業・農村を支える地域づくり』</p> <p>座長：呉地 正行さん（NPO 法人蕪栗ぬまっくらぶ理事長） 副座長：船橋 玲二さん（NPO 法人田んぼ研究員） パネラー：大久保 寿夫さん（栃木県小山市市長） 浅見 紀夫さん（株式会社一ノ蔵 名誉会長） 大越 健治さん（みやぎ生活協同組合 専務理事兼産直推進本部長） 橋部 佳紀さん（株式会社アレフ ふゆみずたんぼプロジェクト） 本多 清さん（アミタ持続可能経済研究所：高島市事例ほか） 楊 平さん（滋賀県立琵琶湖博物館 主任学芸員） ソ・ドツンさん（イエサンコウノトリ生態農業連合会事務局長）</p> <p>【検討内容】・生きものを育む農業のリスク負担の軽減等に関する事例と課題 ・生態系サービスとしての活用法 ・環境負荷低減に向けた地域資源活用等の利用（循環型社会構築） ・次世代育成に向けた効果的手法（施策）</p>
18:30～20:30	<p>■交流会（会場：芙蓉閣） >定員：200人 >参加費：5,000円/人</p> <p style="text-align: center;">【2日目終了】</p>
7日 (日)	会議（会場：大崎市民会館）
9:30～11:30	<p>■総合討論（9:30～11:30） 前日の各セッションでの事例報告・議論について会場を含めた討論を行うとともに、宣言文のとりまとめを行います。</p> <p>進行：あん・まくどなるどさん（上智大学大学院地球環境学研究科教授）</p>
11:30～12:00	<p>■閉会セレモニー（11:30～12:00） >閉会挨拶 >『（仮称）生物の多様性を育む農業国際会議2014・大崎宣言』の採択ほか</p> <p style="text-align: center;">【全日程終了】</p>

※パネル討論のパネラーは、9月11日現在で承諾いただいた方のみ記載。今後追加されることがあります。

（4）展示企画

- ①開催期間：平成26年12月6日（土）9：30 ～ 7日（日）11：00まで
- ②会場：大崎市民会館（中ホール内）ほか
- ③内容：生物の多様性を育む農業の実践に寄与する農業機械や再生可能エネルギー（電力、液体燃料など）の利活用技術、地域内外の農用地等保全団体の活動紹介を行います。
 - パネル・ポスター展示
 - 農業機械展示
 - 土木的配慮施設の展示（魚道、お助け工等）
 - 再生可能エネルギー機器の展示（電力、液体燃料等）

7. 参加費

無 料

※ただし、12月6日(土)の弁当(500円/個)、交流会(5,000円/人)については、別途、負担いただきます。

8. 申し込み

下記お申し込み先のホームページまたは、FAX、E-mailよりお申し込みください。

(1) 申し込み先

みやぎ大崎観光公社

所在地：〒989-6153 宮城県大崎市古川七日町3-10 醸室内

TEL：0229-25-9620 FAX：0229-25-8635

E-mail：iceba2014@mo-kankoukousya.jp

★申し込み専用サイト

<http://mo-kankoukousya.jp/hp/iceba2014/>

(2) 申し込み期限

平成26年11月20日(木)まで

※定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきますので、ご了承ください。

9. 問い合わせ

第3回「生物の多様性を育む農業国際会議2014(ICEBA2014)」実行委員会

事務局：大崎市産業経済部産業政策課自然共生推進係内

TEL：0229-23-2281 FAX：0229-23-7578

E-mail：iceba2014@city.osaki.miyagi.jp

10. 交通のご案内

(1) アクセス

○JR古川駅から徒歩で約15分
車で約3分

○東北自動車道
古川インターチェンジから
車で10分

○宮城交通工業高校前バス停から
徒歩で約8分

(2) 駐車場

約400台

(市民会館及び周辺臨時駐車場を含む)

※混雑が予想されますので、公共交通機関及びシャトルバスのご利用にご協力をお願いします。

(3) シャトルバス

JR古川駅～大崎市民会館 までのシャトルバスを運行します。

